



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第28号 2014年 8月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0866
徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035
U R L : http://dreamer-service.org
E-mail : npo@dreamer-service.org
発行責任者 山口 浩志

論語に学ぶ



理事長 山口 浩志

炎暑のみぎり、地域の皆様におかれましては日常のご協力とご理解に大変感謝申し上げます。
厚労省の国立社会保障研究所が発表した、世帯数の将来推計によりますと、21年後の2035年には、世帯主が65歳以上の高齢者世帯数が40・8%と、初めて4割を超える予想でした。またその中でも独り暮らしが全国で37・7%を占め、約762万2千世帯に達することが明らかになりました。

一方、経済財政諮問会議には「選択する未来」委員会が設置され、そこでは人口減対策として、女性の就労支援や70歳まで働ける雇用環境の整備などの検討に入っているようです。

また高齢者問題については多死社会といわれる昨今、特養の取り事例が過去3年間で1・6倍増え、終末期のあり方も含め、これまでのしくみを一一つ知恵を出しあって変えていかねばならないと思います。

孔子の教えの中に、「仁者は難きを先にして獲るを後にす。」とあります。新しいプロジェクトは大変なことでありますが、先に苦労しないと大きな成果は得られない。目先の利だけを追ってはならない、と意味しています。

私の尊敬する偉大なる社会事業家の石井十次氏は、孤児を断念し岡山孤児院を創設し、後に「児童福祉の父」と呼ばれるまでになりました。

医療福祉界の先人たちの教えに学び、未来に向けてこれからも前進していきたいと思います。

今後とも皆様方のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2014年 スローガン

- 四、四つの確認
一、思いやりの心で助け合っているかどうか
(コミュニケーション力)
- 二、困難な事にも挑戦し道を開いているか
(創造力)
- 三、報告・連絡・相談ができているか
(問題解決能力)
- 四、学問を怠ららず考える力を養っているか
(思考力)

「地域包括ケアの在り方について」

(株) ヒューマン・ヘルスケア・システム 松井 直樹



今や猫も杓子も「地域包括ケア」一辺倒の時代である。

ところで「専門家」という存在は、誰でも懂れる。例えば、フィギュアスケートでもオリンピックで活躍するスター選手は小さい頃から、その道のプロの専門家の先生について指導を受ける。医療や介護の分野でもそうである。だんだんと細分化して行くし、やがてはランク付けが始まる。

しかし、フィギュアだけでなく、ジャンプなどの他のスポーツをできるような万能なスポーツマンというものは、滅多にいない。介護福祉の専門家にとつて包括化や統合化ということは、それに近いようなことではないだろうか。しかも「専門性」は誰にとつても分かりやすいが、「包括性」は誰にとつても分かりにくいのではないだろうか。

戦前の徳島出身の賀川豊彦という社会福祉事業家も、大変分りにくい人物であった。農協・生協の創設者であったり、小説家でもあったりする「包括性」を持っていたからである。

しかし、「地域」ということを考えると、この分り難い「包括性」が発揮される「場」なのである。だから、賀川は、徹底的に「地域」にこだわった社会福祉事業家であった。彼は、当時の神戸・新川地区の貧困問題に直面して、「専門性」の要求される「縦割り」の社会福祉事業ではなく、「包括性」の要求される「横割り」の社会福祉事業を展開した。

すなわち、彼はスラムの子供の教育から発して、診療所の経営、信用組合の経営、授産所の経営、購買組合の経営、住宅の建設などの多種多様な事業、小学校単位の範囲の中で、同時的に行って行く。これに対して、冷やかだだったのは大人達であり、既存の専門的な組織であった。しかし、やがて大人達の中からも賛成者が現れるようになる。それが灘生協の出発である(現在の世界最大の生協「コープこうべ」)。

「地域包括ケア」一辺倒の時代にあつて、やはり、徳島の生んだ社会福祉事業家の賀川豊彦のような人物にその原点を学ぶべきではないだろうか。



釜内哲子先生

作品の出来ばえも
皆さんと達しています

たせていただいております。利用者様も、それぞれの教室での活動で、忘れかけていた感性を取り戻したり、新しい発見があったりと、



デイサービスセンター夢ハウス

年々、内容的に充実しているデイサービス夢ハウスの実践をご報告いたします。
テーマは「文化活動」で自身を見つめる機会ができることです。

昨年度より、書道と折り紙、また音楽療法といった教室を定期的にも



泊裕子先生

書道を通じての自分を
見つめなおしています

「字は体なり」

いずれも効果絶大です。
また、教えていただいている、書道の泊裕子先生は自ら主宰される書道教室の合間で、また折り紙の釜内哲子先生は、自らの作品の個展を開かれています。また音楽療法の森永ヘルパーは、自宅でピアノ教室を開いている、本格的な方たちばかりですが、どなたから「高齢者の人たちからいつも学ばせていただいています。」とおっしゃっていただいています。



＝とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会＝ 26年度 総会・シンポジウム 東近江市「チーム永源寺」活動報告



代表幹事山口の挨拶

住居参加型 在宅サービス

26年度総会及びシンポジウムが去る6月15日に開催され、約60名の参加者があり、住民福祉についてみなさんで考える機会がありました。

「住民は組織ではなく、
規約で生きている人々！」

シンポジウムには、東近江市で「チーム永源寺」としてご活躍されておられる、川嶋富夫氏（生活支援サポーター）絆、代表、佐藤陽

「動けど」や「寝ておろす」

一氏（もみじケアプランセンター ケアマネージャ）、中西知史氏（東近江市社協）の3名の方々から実践報告をしていただきました。
それぞれお立場は違っても、「助けて！」と地域の中で気軽に言えることが生きがいになり喜びになりあえるようなまちにしたい、という目指す道を共有しておられるそうです。こうしたことに取り組む前に、何度も何度も住民座談会を開いてきたことがベースにあるそうで、福祉のまちづくりへの揺るぎない信念がうかがえました。

スローライフは「楽しむ」活動



シンポジウムに刺激を受ける



ヘルパーステーションたすけあい

訪問介護の現場取材させていただきました。在宅では、ご本人やご家族からの要望はもちろん、それぞれの形がありますが、そこには暮らしの中における価値観や人生観が意味されています。ヘルパーさんたちも現場では日々そうした勉強をさせていただいているようです。

介護福祉士

原

直美



ヘルパーさんとのふれあいで暮らしも安心

在宅は、毎日が「初心」なので 日々新たな気持ちで訪問してます

しばらく現場から離れていましたが、縁あってどりーまあで介護復帰してくるようになりました。ベテランクラスではありますが、ご本人は「在宅はそれぞれの関わり方があって、日々新しい発見の連続です。」と言われます。この日の担当であったMさんは、体の状態もここ2〜3年で変わってきているとのこと、有償ボランティアの人と連携しながら支援させていただいていることがとても安心感があるそうです。

たすけあい
介護リーダー
磯崎 智史

病院での介護経験をもち、どりーまあ訪問介護でこれまでの経験を在宅で活かしてみたいとの思いで頑張っている磯崎氏です。ご本人は、施設との違いは、在宅では

介護させていただく時に、タオルやバケツ、お湯など、ご家庭のものを使わせていただきますが、そういう面にも配慮することが大事なことだと言います。この日訪問されたNさんは、入浴援助が必要な方ですが、男同士なので気兼ねなく頼めるし、心強とおっしゃってくれています。今ちまたで男性介護職員として注目されています。



男性ヘルパーは頼れる存在と絶賛

物品への配慮や時間管理 の大切さを学んでいます

訪問前日から「元気してるかなあ」と思いながらの毎日です

実務者研修資格

齋藤

美香

ヘルパーとして半年が過ぎた頃で、まだまだ緊張の連続だそうですね。訪問前日には、元気にしてるかなあ、と気になったりするんです、というコメントがありました。

この日、訪問担当であったS氏も、最初は他人にお世話になることに拒否感がありましたが、ご本人曰く、「最近ヘルパーさんが来てくれるのが待ち遠しいんですよ。」と満面の笑顔でお話してくれました。



家族のようなおつきあい

か ん ご

どリーまあ訪問看護ステーション



本年度よりどリーまあ訪問看護ステーションに新しいスタッフが仲間入りしてくれました。地域医療の役割を担っていく大切な人材です。紙面を通してご紹介いたします。



管理者
藤塚 順子

看護師になって以来、急性期病院でずっと働いてきました。病院勤務後半はがん患者さんへの緩和ケアを中心とした業務でした。この度ご縁あってどリーまあ訪問看護で働くことで、看護学生時代の頃のように初心に戻って在宅の勉強をさせていただいています。これからもいろいろな人たちと出会ってひとつひとつ学んでいこうと思います。



廣瀬 佳代

看護業務の中でも、訪問看護は自分自身が自己実現できる最もふさわしい職業と感じています。悩んだりつまずいたりもしますが、いつも訪問先の利用者さんやご家族さんたちから学ばせてもらったり、励まされたりしています。これからおひとりおひとり看護の立場でお役に立てられるように頑張っていますので、よろしく願います。



佐埜 亜莉沙

徳大看護学生の時にどリーまあ訪問看護で在宅実習を受けさせていただき、訪問看護をする時はこちらでやりたい、と決めています。大阪の急性期病院で働いて、再び徳島へ戻ってきたので、この度お世話になることになりました。まだまだ修行の身ですので、これからもご指導のほどよろしく願います。

看護師募集中



第5回 どリーまあこどもクリスマスの集い



参加者みんなで記念撮影



職員による演奏



歌声と音色に心癒されるひととき



早いもので、「こどもクリスマス」の集いも第5回を迎えることができました。

この日があるから 1年頑張ってきた

みなさん集まってくると「元気にしよったでえ。」などの声が飛び交い、一気に明るい雰囲気になります。

みなさん今年も年末にはお会いしましょうね。

今年ボランティアで加してくださった「馬の宅Q便」の皆さまによる歌声や楽器の音色に参加者全員が心癒されるひとときでした。交流会のちに開かれた保護者懇談会では、理事長や看護職員たちも一緒に参加し、普段聞けないご意見やご感想をたくさんいただき、これからの運営に大変参考になることばかりでした。

児童デイサービス どりーむキッズ



今日は何のお話かな？

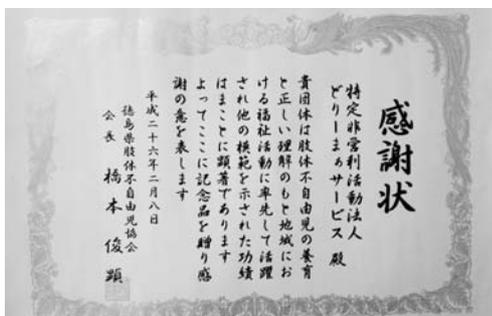
徳島市立図書館で、定期的に絵本をお借りして、子どもたちにいろいろなお話を読み聞かせる時間をもっています。
保育士の話が始まると、不思議と目を輝かせて、静かに聞けるまで成長してくれました。
カンシヤ カンシヤです。

読・み・聞・か・せ



誇り

開所してから1年が過ぎたどりーむキッズです。徐々に地域にも浸透しているようですが、地道な実践活動をモットーにこれからも取り組んでいきたいと思えます。



肢体不自由児協会様より感謝状贈られる

子どもたちの成長を
応援する
認定店



ボール遊びもリハビリです

子どもたちの機能に合わせた機能訓練を、専門の作業療法士中心に行っています。
寝返り、うつ伏せ、歩行練習などですが、続けるうちに心身共に成長しているのが分かります。

リ・ハ・風・景



保護者会で暮らしの知恵を出し合う

どりーむキッズがどこまで
何年かぶりに図書館に
行きました

これまで3回の保護者会を開きました。春の保護者会では、クリニコ食品さんからの栄養食のお話をしていただいたり、毎回違ったテーマで話し合っています。
回を重ねる毎に夢も膨らみ、目指す道を共有しあいます。

保・護・者・会



ケア マネージャー



どりーまあ徳島

磨く

ますます重要な役割となる職種のひとつがケアマネージャーです。今後は医療連携や認知症ケア、地域ケア会議など、歩むべき道が広がっていきます。

事業所内でもこれから求められる役割を認識しつつ、日々研鑽を積み重ねているところです。

制度移行に伴い、地域で起こりうるべき課題と向き合い、チャレンジ精神で前進しているところですが、今年度新たに加わったスタッフのご紹介をいたします。

地域包括ケアシステムの時代にさしかかっている今、「施設から在宅へ」「治療から支える医療へ」が叫ばれています。

そこで、ケアマネージャーにはキーパーソンとして大事な役割が求められています。医療介護連携の他に、住民参加のしくみづくりの橋渡し役を果たす必要があります。



遠藤 紀子 (社会福祉士・精神保健福祉士)

6月からケアマネとして勤務しはじめて、出身は徳島ですが、長く県外で福祉関係の仕事をしていて、つい最近徳島に戻って来ました。故郷の町並みはすっかり変わっていますので、日々の仕事は、地理を覚えることからのスタートです。

これまでの仕事は入所系の施設が多かったのですが、個人のお家にお伺いすることもあまりない経験です。

これからどんな利用者の方に出会えるのか、とても楽しみです。

介護養成講座

初任者研修開講

第2回目となる「初任者研修講座」が26年2月5日〜4月24日の間、どりーまあ末広事業所にて開講されました。今回は10名の受講生があり、全員が無事に資格取得されました。



きっかけは「役立ちたい」思いから！

人財

3か月という期間、欠席すると再受講とレポート提出というペナルティが課せられていただけに、受講生さんたちは最初は緊張されていました。

活力

したが、徐々に講座に慣れてくると、「みんな頑張ってるよ！」「みんなな！」と励まし合いながらの日々でした。

テキストで学ぶことの他に、介護職に必要なチームワーク、体力、精神力などが自然に身についた期間でもありました。

受講生の皆様の今後のご活躍に期待いたします。

「ふるさと徳島の地で恩返ししたいです。」

基本を大切に!!

体操教室

徳島市元気高齢者づくり事業

昭和教室

新しくできた昭和コミュニティセンターでの体操教室の様子をご紹介します。みなさんで盛り上げてくれているおかげで参加人数も一気に増え、活気がでてきました。



体操前の健康チェック

新しくオープンしたコミュニティセンターで再開しておりますが、人数もたくさん増え、今では毎回20名を超える勢いで運営させていただいております。昭和教室が始まってからずっと体操のお姉さん？で活躍の美馬桂子さんや看護師の方たちとのチームワークは抜群です。スタッ

フたちは、意外にも運営を始めた頃はいつまで続くかと不安いっぱいだったのですが、参加者さんたちからいつも元気をいただけているのでここまでできました、と言います。参加者の中でも最初から登録されている方も多く、福井包子さんもそのうちのおひとりです。自宅をよく転んでいたそうですが、ここに来るようになってから転んだことがないというくらい、成果がでてくるようです。

これからみなさんの熱気で大いに昭和地区を盛り上げてくださいね。

- ・開催日：毎週金曜日
- ・時間：9：30～11：30
- ・場所：昭和コミュニティセンター



みんなで「イチ・ニイ・サン」と元気なかけ声



ご近所の人との温かい集い

待望のサロン始まる



クリスマスの飾りを一緒に作る



居場所

地域の人たちのふれあい広場に

毎月第2・第4土曜日に「どりーむキッズ」の場所で地域の人たちの語らいの場をつくっています。お茶会をしたり、時には参加者の中で絵手紙作りが好きな人が講師となり作品作りをしたりと、生産的なことも行っています。

元地主であった故土橋氏の、「地域の人たちがいつも気軽に集まってもらえるような場所として使ってもらいたい。」というご遺志を受け継ぎ、始めさせていただきました。

これからも引き続き月2～3回の開店予定で進めてまいります。

引き続きご利用いただけますようお願いいたします。



絵手紙もできました

あたたまる居場所を!!

小規模 多機能ケア 夢ガーデン

設立してはや2年半が過ぎようとしています。
ここにきてようやく、新しい福祉モデルの理解ができるようになりました。
夢ガーデンでの様々な取り組みについてご紹介させていただきます。

音楽療法



エネルギーに音楽療法に励む

週2回開催しております。いつもピアノ担当をしてくれるお姉さま(?)は、週4日は自宅でピアノ教室を開いている本格派です。
最初は高齢者ケアと音楽療法が結びつかなかったようですが、今では息もピッタリな様子です。

＊どりーまあ家族の会 =同じ立場だからこそ語れる励ましの数々= ＊



同じ病気を支える立場での話し合い



同じ悩みがわかり合える場です

昨年開催できなかったことで、今回はフロアに集まるやいなや、いきなり盛り上がり、みなさん楽しみにしてくれているのがよく伝わりました。
同会会長を務めていただいております、森浦彰氏からは、これからは自分たちが中心となつて、この家族の会を進めていきたいと思います。と呼びかけてくださり、心強く感じました。



対話の日



ゆっくり聞かせて下さい

月1回開催しています。
住宅にご入居いただいている方や小規模登録され在宅から

**ご利用者
らのご意見
は宝物です。**

通われてきている方などに対して、食事などについての意見交換会を開いています。
みなさんから活発なご意見をいつもいただき、感謝するばかりです。

運営推進会議



それぞれのお立場からのご意見で運営のヒントを得る

2か月毎の運営推進会議ですが、本年度から新たに、登録利用者のご家族にも参加していただくよ

ます。

ここが原点の場!!

うになりました。小規模多機能はこれまで、ここでも、ここで出された意見をベースに次々と新たな挑戦に取り組んでまいりました。これからもその精神を保ちつつ運営に取り組んでいきたいと思

第1回

地域密着

どりーまあ秋祭り

秋晴れに地域の人たちが
とのふれあいに感謝



元理事故山口敏史氏にも参加して
もらえました

開会式

故山口敏夫理事に黙とうを捧げ、理事長よりこれまで支えてきてくださった多くの方のおかげで、念願の施設祭りが開催できたことに対して、感謝の意での挨拶がありました。

平成25年9月28日、秋晴れの中、たくさんの方の来訪者があり第1回目としては大盛況に終わることができました。地域からは、約250名の参加があり、お店での販売やゲームなど、会場はところせましと賑わいました。



子どもたちの元気な声は何よりのビタミンです



こんな日が毎年あればいいな!!

催し物

金魚すくいやヨーヨー釣り、輪投げでの景品当では、子供たちだけでなく、大人たちも子供にもどったように大喜びで楽しまれていました。
またぐまわり園さんのパン販売は、200個があつという間に売り切れて、こちらも大繁盛でした。

大人も子どもたちも
一緒に楽しめました



利用者も練習の成果を発揮



ダンススタジオひまわりの皆様



阿波踊りにうっとり



地域の演奏グループの皆様も参加

感動 & 華やか 踊り & 演奏

舞台

オープニングでは、瀬戸内美八先生率いる「ダンス」披露があり、いきなりの華やかさとレベルの高さに圧倒されました。また藍吹雪の皆さんによる阿波踊り、沖洲ふれあい合奏団で音楽演奏などがあ
り、潤いある秋を地域の皆様と満喫できたひと時でした。

新規オープン

サービス付き高齢者住宅 レスポワールⅡ

挑戦

26年度4月よりオープンいたしました「レスポワールⅡ」です。高齢者住宅としては2棟目の運営となり、地域の多くの皆様に末永く育てていきたいと願っています。

次への
ステップ



また天窓から差し込まれる光により、昼間は明るいたたずまいです。

設置されております。

設備

1階のみで、個室29室あります。部屋面積は18㎡、室内にエアコン、洋式トイレ、クローゼットが

始動



外観

佇まい



モデルルーム



新天地での期待 管理者 櫻木 庸平

入居者のみならず、川内・応神地区やその他周辺地域からもぜひご利用いただきたいと思っております。浴室は一般浴槽と特殊浴槽があり、お体の不自由な方でも車いす専用車両でお迎えに行かせていただきます。音楽療法やリハビリ、園芸療法などのメニューを用意させていただいております。

デイサービスセンター
夢ファミリア

ヘルパーステーション たすけあい川内

新チームで躍動



3月6日24時間営業です。男性ヘルパーも活躍中で、心強いです。

出会いを大切に

管理者 元木 達也

医療ニーズのある中重度者や認知症のある方のか、住宅内やご自宅で最期まで迎えられるような援助ができるよう、看取りケアについても研修を積み重ねております。

開所式典

理事長挨拶に始まり、前中小企業中央会長・全国トラック協会副会長の栗飯原一平様、徳島県看護協会専務理事緒方静子様はじめ、30名のご来賓の方にご臨席いただき行われました。

最後には、箱まわしのご披露があり、縁起よくオープニングを締めくくっていただきました。



理事長 決意を語る



伝統芸能「箱まわし」で祝福



来賓 緒方静子様



来賓 栗飯原一平様

大海

バリアフリー2014

セミナーに参加して



事務長 杉本 仁史

日付：平成26年 4月19日(土)
場所：インテックス会 大阪国際 議ホール

「地域におけるサービス付き高齢者住宅の役割」をテーマに社会医療法人ベガサス馬場記念病院理事長馬場武彦氏とパナソニックエイジフリーショップス(株) 小規模多機能運営部部长藤澤宏充氏より、サ高住の運営と取組みについての講義を聞くことができました。

いくつか話された運営と取組みの中で、医療法人のポイントとしては、1、1年目は赤字運営を覚悟する、2、空き部屋の活用(看護師の寮としての活用など)、3、看取りができる体制にする、4、制度変更を見据えた取組みをする、5、利用者の調整は、MSWだけに任せない(人任せにせず、チームや法人全体で取り組む)以上の5点でありました。また、民間業者の運営のポイントとして、1、地域と連携、2、看取りができる体制(救急搬送先との強固な関係の構築やスタッフの心的不安を緩和するため、かかりつけ医との連携を密にする)、3、ターゲットを明確にする、4、稼働率を100にする(稼働率

のコントロールをする) 以上の4点でありました。

印象に残ったことは、病院が経営するサ高住でも満室にすることが難しいこととあります。利用者を募ることをMSWだけに任せたいことが失敗であり、今は、法人全体で取組み、関連先との連携を強化することで、改善を図ることに成功しています。このことは、大いに参考にするべきことであり、法人全体で取組むことで一体感も生まれると思います。

4月に開設したレスポワールIIにおいて、土地・建物賃貸、厨房委託などの契約交渉を担当しました。成功事例のシンポジウムで、厨房委託の経営状況について質問し、実際の契約内容と実績を回答していただき、契約内容を検証することができました。また、制度変更を見据えた体制作りや環境作りを今後進めていく必要があります。今回学んだことを具体的行動計画に落とし込み、実践していきたいです。

職 員 研 修

ターミナルケア

～支援者のメンタルをどう整えていくか～

講師 四国大学看護学部 藤代 知美氏

向上



児童デイ 保育士 豊原 美紀

「ターミナルケア」支援者のメンタルをどう整えていくかに参加して

日付：平成26年 3月18日(火)
場所：どリーまあサービス 沖洲事業所

「ターミナルケア」研修で、初めて聞く用語でした。しかし、講師の先生の丁寧な講義とグループワークにて理解できました。

私のグループのある職員さんがプライベートでの実体験を話してくださいました。次々と変わっていく現実と向き合い、受け止めなければならぬ状況の中、生活していく苦労があったと語ってくれました。また、看護師として現場で経験した職員さんの、ケアされる家族さんこそケアが必要だという意見に、経験はありませんが共感しました。

現在私は、児童デイサービスのどリーむキッズの保育士として現場に出ています。障害のあるお子さんを保育するのは初めてであり、正直、驚きと戸惑いの日々でありました。しかし、スタッフの丁寧な指導の元、少

しずつ戸惑いからやり甲斐へと変わり充実した毎日だと感じております。でも、関わるお子さんは、重度の障害がある子がほとんど、オムツ交換・食事介助等、どの介助を取っても神経を使い丁寧な関わりが必要であるという難しさも痛感しました。また、ご家族との信頼関係の大切さも感じました。その為には我々スタッフ、誠実な業務をしていくこと、心身共に健康、自己管理の責任、そしてスタッフ同士協力し合い励まし合うことが大事だということ。

子どもさんに寄り添い、ご家族に寄り添い、児童デイのコンセプトである、家族の療育の軽減である支援が出来るよう頑張りたいと思います。ターミナルケアとは離れた内容になりましたが、研修を終えて私の立場なりの素直な思いです。

《平成26年度 どりーまぁ職員研修日程表》

| | | セミナー | 事例検討 | 基礎研修 | 中間幹部研修 | 防災 |
|-------|----|----------------------|----------------------|---------------------------|-----------|---------------------|
| 平成26年 | 5月 | 5/22 職業倫理 (講師：代表) | | | | 5/22 沖洲事業所 消防訓練 |
| | | ～プライバシー保護 と法令遵守～ | | | | |
| | 6月 | 6/19 伝達講習 | | 6/12 制度の理解 (講師：各部署管理者) | | 6/12 末広事業所 消防訓練 |
| | | | | | | 6/10 川内事業所 AED訓練 |
| | 7月 | 感染症対策 | | 記録の書き方 (講師：代表) | 幹部リーダー研修① | |
| | 8月 | 認知症研修 | | | | 8/中旬以降 救命 救急 |
| | 9月 | 医療セミナー | | | | |
| 10月 | | ヒヤリハット事例 | | | | |
| 11月 | | 退院支援事例 | リスクマネジメント | 幹部リーダー研修② | | |
| 平成27年 | 1月 | | 苦情クレーム事例 | | | |
| | 2月 | | 困難事例 | | | |
| | 3月 | | グループワーク (ターミナルケア) | | | |

平成26年度 委員会構成

◎委員長 ○副委員長

| | 介護 | 看護 | 居宅 | デイ | 事務 | 小規模 サ高住 | 児童デイ | 川内 |
|----------|-----|---------|-----|---------|-----|------------|------|---------|
| 研修委員会 | 磯崎 | 藤塚 | 遠藤 | 新居 | | 山口 ○吉野 | 高橋 | ◎櫻木 |
| 広報委員会 | | 佐埜 | ○福本 | | ◎臼杵 | 白川 | | 菊井 |
| 感染予防委員会 | 楠本 | 桑内 森 | | 吉田 笠 | ○松本 | ◎濱田 | 田村 | 桶川 |
| リスク管理委員会 | 松本 | 廣瀬 | 山瀬 | 西岡 | ◎杉本 | ○国金 | | 元木 |
| 環境改善委員会 | ◎久米 | 小出 | | 松枝 | 田邊 | ○島村 | 豊原 | 森 廣瀬 |
| 内部監査委員会 | | | ◎山口 | | 棚野 | ○吉崎 | | |

寄附感謝

利用者ご家族からご寄附をいただきました。紙面を通してご報告並びに感謝申し上げます。

- ・清水千代見 様 (吸引器)・青木 弘子 様 (ベッド他)・塩江 圭子 様
- ・渡辺乃里子 様